



月刊ハピラコ

2017年9月号 No.15

(発行)
月刊ハピラコ制作チーム
発行責任者：大羽 沙織

障害福祉サービス事業所 ハピラコ (多機能型事業所)
(運営会社)株式会社るるまる

1号店 〒440-0881 豊橋市広小路3丁目37番地 エンゼルビル2F

TEL 0532-21-5474 FAX 0532-21-5475

2号店 〒440-0897 豊橋市松葉町2丁目73番地 朝倉ビル1F

TEL 0532-54-3711 FAX 0532-54-6811

事業所フエア

自分で選び、自分で決める福祉サービス

平成29年8月11日(金) 12時00分～16時00分
ほいっふで行われた事業所フエアに今年も出展させていただきました。

今回は同時開催の会議室において福祉サービス、計画相談、年金、働く為に必要なこと等の講義もあり多くの参加者の方が真剣に聞かれておりました。

各事業所の説明も中学生の参加者の方が多く見られ保護者様を含め、早くから事業所に関心があり、とても驚きもありましたが、それだけ学童期に先生方や相談機関の働きで周知される機会が多くある事だと感じました。

それぞれの事業所があり、活動内容やパンフレットを見ながら回られる中で、ハピラコの事業所説明も真剣に聞かれ多数の作業がある事に興味を示して下さる方もいらつしました。

今回のテーマでもある「自分で選び、自分で決める福祉サービス」そのテーマ通りのように自分に合ったサービスを受けながら自立出来るような支援が出来たら・・・と感じた1日でした。

(伊藤 直子)

出雲殿 夏祭り

8月20日(日)牛川の出雲殿にて、『出雲殿 夏祭り』が開催されました。

ハピラコは、昨年同様、出雲殿豊橋でスノーアイスの販売、イズモホール桜丘でレジンアクセサリー販売と風船人形の体験を各ブースにて行いました。

今年の夏祭りも大変暑く他店でもカキ氷やアイスクリームの販売を行っていましたが他店に比べスノーアイスの価格設定が高めということもあり、売れ行きは今一つでしたが、召し上がられた方々には「新食感で美味しいよ」と好評でした。

アクセサリーでは、レジンで製作したピアスやネックレス、ヘアピンやキーホルダーの販売を行い、中でも新作の球体で製作したピアスは「可愛いデザインだね」と好評でした。風船人形の体験ブースでは、風船の感触が気に入ったのか大勢のお子様手に取って頂き、糸糸で作った髪の毛や目玉を付けオリジナルの風船人形を作られています。体験ブースは時間内に完売するほど大好評でした。後日、製作に携わった利用者さんへ伝えると「すごいね」と笑顔が見られました。また、このような機会があった時には利用者さんも参加出来たらと思います。

(前田 和美)



高木運輸工場見学

お盆明けの8月21日(月)残暑厳しい中、待望の高木運輸工場見学入利用者20名が車3台に分けて出かけました。出発時間が少し遅くなり、予定時間より20分ほど遅れての到着となりましたが、担当の村雲さんはじめ、及部部長さん、平野課長さんも快く迎えていただき、3班に分かれての工場見学です。樹脂コーティングの作業現場への案内では、一つひとつをバーナーで熱した後、樹脂の粉を部品の上部に少し付け、溶かしてコーティングしていく工程を初めて見学し、なぜ部品をきちんと取り付け、違う部品を差してはいけないのか等の説明では、コーティングした部分に車の電気配線を挟み込みしつかり固定しなければ車の走行中に電線が垂れ下がり、大きな事故につながるのだと聞き、丁寧な作業の大切さを実感しました。

次の工程はアーク溶接の作業現場です。形の違う部品を1000度以上の高温で溶接していく所で、大きな音とまぶしい光が出てとても大変な作業だなと感じました。また、広い工場の中では細い鉄の板を小さくカットしプレス機でいつも差し作業で取り付けている部品に加工する工程や、出来た部品を点検していく作業など、普段見られない現場を見学できとても有意義な時間でした。

工場見学の終わりには部長さんからハピラコに対して、「いつもきちんとした製品を出荷していただき感謝しています」とのお礼の言葉を頂き、1時間ほどの見学でしたがこれからもしっかりと作業に取り組んで良い製品づくりの役に立ちたいと思いました。

(浜野 正)



ハピラコ2号店(松葉町)は就労移行6名 B型10名の事業所になりました

お楽しみ会

8月11日(金)にハピラコ1号店にてお楽しみ会を行い、午前は通常どおりに作業をし、昼休みには「黒カレーライス」をみなさんと食べました。お楽しみ会が決まった日から「黒カレーってなんだろう？」と話題になっていましたが、実際に見てみると本当にルウが黒く、少し辛そうにも思えました。でも、口にしてみると甘口で各々に「甘いー美味しいー」と笑顔が見られました。13時からは「なまえビンゴ」という数字の代わりに利用者さんや職員の名前を用紙に書き、ビンゴを狙っていくというゲームで、「私の名前がでた！」等と盛り上がりました。

その後は「イントロクイズ」です。60年代から最新の曲やアイドル、アニメソング等さまざまなジャンルの曲を流しましたが悩みながら手を挙げたり、曲に合わせて踊ったりと、なまえビンゴとは違った楽しみ方が出来ました。今回のお楽しみ会は社長も参加しており、初めて会う利用者さんは緊張しながらも遠くから様子を伺う方や積極的に話しかける方などさまざまでした。

就労移行の利用者さんも含めたお楽しみ会でしたが、色々な形で交流を深めることが出来ました。

(大羽 沙織)



利用者インタビュー

今回は就労移行支援事業所を利用する中西剛さんにインタビューしました。

(綿貫 雄介)

Q1 4月からハピラコを利用し始めて5か月経ちましたがどうですか？

A1 利用にだいぶ慣れてきていい感じ。前の仕事は忙しくてお父さんのお世話する時間があまり無かったけどハピラコを利用するようになって時間が増えました。

Q2 作業についてどうですか？

A2 拭き取り作業は大変だなと思う。しっかりとやらないといけないので拭き取りはしつかり行っている。他の作業は特に苦手意識はないけど、ナット通しの作業は好きだな。

Q3 “いわきゆう”さんでの実習についてはどうでしたか？

A3 社員さんが親切に作業を教えてくださいましたので助かりました。いわきゆうでの仕事は続けていくことが出来ると思います。

Q4 将来の希望とかありますか？

A4 お父さんの事が心配なので、仕事も頑張りがらお父さんのお世話をしていきたい。

Q5 最後に一言お願いします。

A5 これからも元気に体調を崩さず頑張っていきたいと思います。



【ハピラコ事業所概要】

<就労継続支援B型事業所>

障害福祉サービス事業所 ハピラコ(運営:株式会社るるまる)
〒440-0881 豊橋市広小路3丁目37番地 エンゼルビル2F
TEL 0532-21-5474 FAX 0532-21-5475

〒440-0897 豊橋市松葉町2丁目73番地 朝倉ビル1F
TEL 0532-54-3711 FAX 0532-54-6811

- <サービス区分> 就労継続支援B型
- <定員> 30名(広小路20名 松葉町10名)
- <送迎> あり
- <工賃> 1日1,000円～
- <営業時間> 午前8時30分～午後5時30分
- <サービス提供時間> 午前9時30分～午後3時30分

<就労移行支援事業所>

障害福祉サービス事業所 ハピラコ(運営:株式会社るるまる)
〒440-0897 豊橋市松葉町2丁目73番地 朝倉ビル1F
TEL 0532-54-3711 FAX 0532-54-6811

- <サービス区分> 就労移行支援
- <定員> 6名
- <営業時間> 午前8時30分～午後5時30分
- <サービス提供時間> 午前9時30分～午後3時30分



職員紹介

皆さん、初めまして。

8月21日よりハピラコで働かせて頂いています。

中田 達紀(なかた たつり)です。

退職して1年半休養していましたが、そろそろ社会復帰しようと思っていたところに、ご縁がありまして、お世話になります。

ハピラコ「ハッピーに働こう！」いいじゃないですか！

送迎ドライバーとして短い時間ですが、ふれあいを大切に安全運転を心掛けます。どうぞよろしくお願い致します。



ハピラコ1号店(広小路)は日中一時支援事業を始めました！